

共長出張所及び防災センター建設工事設計業務委託

プロポーザル審査基準



大府市公式
マスコットキャラクター
おぶちゃん

平成30年2月

大府市消防本部庶務課

目 次

1. 審査基準の目的
 2. 1次審査（実績・資格審査）
 3. 2次審査（技術提案審査）
 4. 総評価点の算出
 5. 優先交渉権者の選定
- ・審査基準総括表

1. 審査基準の目的

共長出張所及び防災センター建設工事設計業務プロポーザル審査基準（以下「基準書」という。）は、共長出張所及び防災センター建設工事設計業務委託（以下「本業務」という。）に関する優先交渉権者を選定するにあたり、共長出張所及び防災センター建設工事設計業務委託公募型プロポーザル審査委員会（以下「委員会」という。）が最優秀提案者等を決定するための審査基準を定めるものである。

2. 1次審査（実績・資格審査）

設計実績調書・配置予定技術者調書をもとに、書類審査により上位の5者を選定する。1次審査の点数が20点未満の者は失格とする。なお、同点の場合は実績評価が高い者を上位とする。

（1）実績等の評価項目と配点

実績等の評価では、事務局において次に掲げる評価項目により評価及び採点し、委員会へ報告する。本評価の配点は30点とする。

| 評価項目 | 評価の視点 | 配点 |
|-------------|---|----|
| ア) 事業所の実績評価 | 1) 消防署の設計実績 2) 防災センターの設計実績 3) 大府市内公共施設の設計実績 | 13 |
| イ) 技術者の評価 | 1) 管理技術者の能力 2) 各担当技術者の能力 | 17 |

3. 2次審査（技術提案審査）

（1）技術提案書の確認

技術提案書の内容が、本業務の実施要領、仕様書等の要件を満たしている事を確認する。その結果、要件を満たさない提案は応募者に確認のうえ、失格とする。

①基礎的事項の確認

技術提案書に記載された内容が、次に掲げる基礎的事項を満たしている事を確認する。

| 審査項目 | 審査内容 |
|----------|--------------------------------------|
| 提出書類の確認 | 提出を求めている書類が全て揃っているか。また、必要事項が記載されているか |
| 提案内容の不整合 | 技術提案書全体において、不整合がないか。 |

②業務仕様の確認

各応募者の技術提案が、本業務仕様書に適合していることの確認を行う。

(2) 技術提案書の評価

委員会は(1)の技術提案書の確認を受け、適合した提案内容の評価する。

①技術提案の評価項目と配点

技術提案審査では、委員会において応募者にヒアリングを行い、下記の評価項目により評価及び採点する。本評価の配点は70点とする。

| 評価項目 | 評価の視点 | 配点 |
|------------|--|----|
| ア) 実施方針評価 | 1) 事業コンセプト 2) 提案の独創性、実現性、追加提案 3) 取組体制、工程計画 | 25 |
| イ) 技術提案評価 | 1) 敷地の有効活用及びスムーズな動線を意識した配置計画 2) 大規模災害時における利活用 3) 建設費及びランニングコストの低減 4) 周辺環境への配慮及び地元の資材の活用 | 40 |
| ウ) ヒアリング評価 | 1) ヒアリング及び質疑内容 | 5 |

4. 総評価点の算出

委員会は、委員の平均点により評価点を決定する。1次審査(実績・資格審査)及び2次審査(技術提案審査)の各評価点を合計し、各応募者の総評価点を算出する。総評価点は100点満点とする。

5. 優先交渉権者の選定

委員会は、1次審査（実績・資格審査）及び2次審査（技術提案審査）の評価点を合計し、最高点を得たものを最優秀提案者に、次の高得点者を次点提案者にそれぞれ決定する。ただし、応募総数が1者のみの場合も含め、総合点数が65点未満の者は優先交渉権者としない。

なお、最高得点者が2者以上となった場合は、「評価項目」のうち「技術提案評価」の得点が高い者を最優秀提案者とし、最優秀提案者が辞退した場合には次点の者を優先交渉権者に選定する。

市は、委員会の審査結果を踏まえ、最優秀提案者を優先交渉権者として決定し、その結果を参加者に通知するとともに公表する。

審査基準総括表

1 実績・資格審査（30点）

| 評価項目 | | 配点 | | |
|---|-----------------|-------|----|---|
| ア) 事業所の実績評価 | | | | |
| 1) 消防署の設計実績 | | 13 | | |
| 過去30年以内に延床面積が800㎡以上の消防署または出張所の新築工事に関する設計業務を自社で行ったことがある。 | 4件以上 | | 5 | |
| | 3件 | | 3 | |
| | 1～2件 | | 1 | |
| 2) 防災センターの設計実績 | | | 17 | |
| 過去15年以内に該当面積が300㎡以上の防災センター及び防災に関する体験等ができる施設（※1）の新築工事に関する設計業務を自社で行ったことがある。 | 3件以上 | | | 3 |
| | 2件 | | | 2 |
| | 1件 | | | 1 |
| 3) 大府市内公共施設の設計実績 | | | | 5 |
| 大府市内にある、市又は県、事務組合等（※2）が管理する公共施設の新築工事に関する設計業務を自社で行ったことがある。 | 3件以上 | 5 | | |
| | 2件 | 3 | | |
| | 1件 | 1 | | |
| イ) 技術者の評価 | | | | |
| 1) 管理技術者の能力 | | 3 | | |
| 過去に延床面積1,300㎡以上の公共建築物の設計業務の経験がある。 | 管理技術者（統括責任者） | | 5 | |
| | | 主任技術者 | 3 | |
| 2) 各担当技術者の能力 | | 17 | | |
| 意匠主任技術者の資格及び過去に延床面積1,300㎡以上の公共建築物の設計業務の経験がある。 | 一級建築士かつ主任技術者 | | 3 | |
| | 一級建築士かつ担当技術者 | | 2 | |
| 構造主任技術者の資格 | 構造設計一級建築士 | | 3 | |
| | 一級建築士、技術士 | | 2 | |
| 電気設備主任技術者の資格 | 設備設計一級建築士 | | 3 | |
| | 一級建築士、建築設備士、技術士 | | 2 | |
| 機械設備主任技術者の資格 | 設備設計一級建築士 | | 3 | |
| | 一級建築士、建築設備士、技術士 | | 2 | |

※実績や資格の該当が無い場合は「0点」とする。

※1) 地震体験、消火器体験、展示コーナーなどの消防・防災に関する体験や学習を目的とした施設。

※2) 東部知多衛生組合、知多北部広域連合、知北平和公園組合とする。

2 技術提案審査（70点）

| 評価項目・評価の視点 | | 配点 |
|--|----|----|
| ア) 実施方針評価 | | |
| 1) 事業コンセプト | | 25 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・本業務の意図、課題、背景をよく理解した提案となっているか。 ・多くの市民が利用したくなり、施設に誇りを持てるデザインとなっているか。 | 10 | |
| 2) 提案の独創性、実現性、追加提案 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・最新技術の活用や新しい試みなど、独創的な提案となっているか。 ・明確な根拠に基づいた実現可能な提案となっているか。 | 10 | |
| 3) 取組体制、工程計画 | | 5 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・取組体制や工程は無理のない計画となっているか。 | | |
| イ) 技術提案評価 | | |
| 1) 敷地の有効活用及びスムーズな動線を意識した配置計画 | | 40 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・敷地の広さや高低差を活かした配置計画となっているか。 ・埋設配管等への配慮がされているか。 ・円滑な動線計画となっているか。 | 10 | |
| 2) 大規模災害時における利活用 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害時の緊急出動動線は検討されているか。 ・大規模災害時の段階的な活用について検討されているか。 ・大規模災害時の減災に向けた提案がされているか。 | 10 | |
| 3) 建設費及びランニングコストの低減 | | 10 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・建設費を抑えるための工夫がされているか。 ・将来的な設備更新に配慮された計画となっているか。 ・ランニングコストの低減策が提案されているか。 | | |
| 4) 周辺環境への配慮及び地元の資材の活用 | | 10 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの活用や省エネに関する提案がされているか。 ・周辺環境に対する配慮がされた提案となっているか。 ・地元の資材の活用に関する提案がされているか。 | | |
| ウ) ヒアリング評価 | | |
| 1) ヒアリング及び質疑内容 | | 5 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・説明及び質疑応答の明確さ。 ・本事業に対する熱意、取り組み意欲を感じるか。 | 5 | |